

# The TENDAI journal

発行所：天台宗出版室  
発行人：出版室長 小林 祖承  
〒520-0113 大津市坂本4-6-2  
天台宗務庁内 電話：077-579-0022(代)  
Eメール：T-Press@tendai.or.jp

令和4(2022)年4月1日 金曜日  
(毎月1日発行) 1部50円(消費税込・送料別)

天台ジャーナル



令和4年度予算を可決決定

## ウクライナ侵攻を非難する決議文採択

### 第百五十一回通常宗議会

第百五十一回通常宗議会が3月8日から10日まで開催され、令和4年度通常会計予算11億1200万円を含む議案17件、報告3件を可決決定し、全日程を終えた。最終日の10日には、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を非難する決議文が採択された。

今宗議会は、4月15日に任期満了を控えた現職員にとり最後の宗議会。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月開催へ延期していた。開会式では、大樹孝啓天台座主殿下の導師で法楽を奉修。続けての「お言葉」で「コロナ禍に加え、世界では国益を優先させた暴力を含む強圧的行為が広がっており、人びとの不安を増幅させています。今夏には、比叡山宗教サミット35周年を迎えます。諸宗教の方々と平和の祈りを捧げ、比叡山延暦寺より世界に敷衍してまいりたく存じます」と述べられた。

新年度予算関係では、第百五十八世天台座主傳燈相承式に関する臨時収納金として歳入歳出ともに4930万円を計上。法人寺院より1個数10円、非法人寺院一律1000円の協力を願ひ、令和5年3月31日までの特別会計を組んで対応する。

令和4年度の通常会計の総予算は歳入歳出ともに11億1200万円とし、前年度補正前予算額より2178万円減額。社会情勢を鑑みて節約し、最小限の増額に留めている。新たに比叡山宗教サミット35周年記念式

典助成金を盛り込んだ。

サミット35周年について阿部宗務総長は、気候変動、環境問題をメインテーマに取り上げることが明らかになった。8月4日に、京都国際会館と比叡山延暦寺で開催する予定で準備を始める。宗規関係議案では、天台宗

務庁の職員定員を業務内容にあわせた「37人」から「35人」へと変更した。宗機顧問の補欠推薦があり、滋賀教区長壽寺住職の長山慈信大僧正の就任を同意した。最後に東日本大震災災害故者を悼み全員で黙祷を捧げた。

### ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する決議文

1987年にアッシジの精神を受けて始められた比叡山宗教サミット「世界宗教者平和の祈りの集い」から今年で35周年を迎えるにあたり、2022年2月24日から続けられているロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻を、我々天台宗宗徒は強く非難します。

この度のロシアによる行動は、国際社会の平和と秩序を乱す国際法に違反する行為であります。いかなる理由であれ武器を用いた非人道的な暴力は許されません。

天台宗宗議会は、自利の執着を速やかに放棄し、徹底した対話による平和的解決をロシア政府に強く求めます。

令和4年3月10日

天台宗宗議会

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

天台宗・一隅を照らす運動総本部

### 極微

昔から魚は、どれほど獲っても枯渇することなどないと思われていた。もちろん、不漁の時があっても一時的なことで、長年に亘って獲れなくなる恐れなど考えられなかったのだ。よく獲れたいわしなどは、江戸時代には畑の肥料として用いられたと聞く。それが現在、魚によっては枯渇を心配せねばならないほど漁業資源の行く末が案じられる▼原因は様々あるようで、気候温暖化による海の変化や、中国や東南アジア諸国での漁獲量の増大などがある。また、ヘルシー食品とのことでヨーロッパ、アメリカなどで魚需要が高くなっているとの話もある。世界に目を向けると、魚の種類によっては、各国間で漁獲高の制限を話し合い、資源の確保を目指しているようである▼世界的な魚需要の高まりで日本人にはなじみの深いまぐろも手に入りにくくなり、値段が上がって久しい。さんまなどは長年価格も安く、大衆魚といわれたが、今では高いのは1匹数百円もしており、高級魚に仲間入りしている。段々と庶民の口に入る魚も少なくなってきた▼世界の人口も増えているだけに今後も一段と日本の食卓に魚のほることが少なくなるのか。しかし、これからは、漁業資源というものを世界各国が保護しなければならぬ時代である。魚も有限であるとの認識を肝に銘ずべきときが来たといえるよう。